

## ふたたび 縄文石器発見か？

野々下 静

(会員 佐伯市狩生)

平成二十五年六月、佐伯市大字狩生のクボハタという所で、縄文時代の磨製石斧が二個発見された。このことは会誌二二三号で報告している。

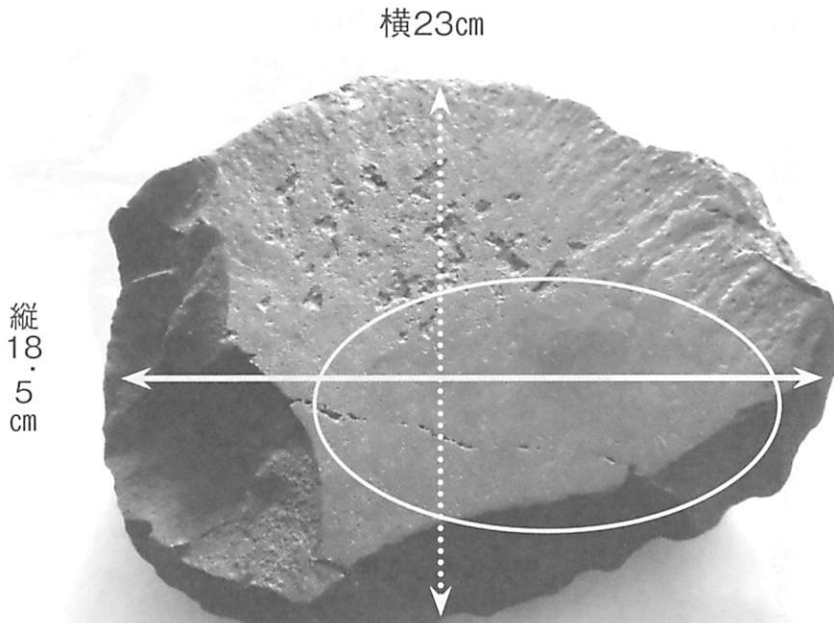
今回、発見された磨製石器は、真ん中に窪みのある砂岩と平らに磨製された頁岩の二つであった。

畑の所有者は、狩生の小野盛久氏であるが、その畑を借用し耕作している東忠明氏が、今回の発見者である。

発見された所は、前回の場所狩生のクボハタ地区の同じ畑である。前回は深さ一メートル程の深さの所であったが、今回は浅い所からの発見である。毎年のように畑を耕して畑作していたので、もとの場所はどこか不明である。耕作の際、移動したと考えられる。この石器は佐伯歴史館の方の話では「縄文石器にほぼ間違いのないだろう」、「発見された土地の年代がいつ頃か、発掘などの方

法で確実に調べられると良いのだが……」との話であった。

### 《第一の石器》



材質は頁岩。表面上部には打傷が多数残されている。下面是美しく磨かれていて物をすり潰した跡が見られる。大きさは、横二十三センチメートル、縦十八、五センチメートル、厚さは七センチメートル、重さは。四、一キログラムもある。ずっしりとした重量感が手に残る。

### 《第二の石器》

二つ目の石器は、材質が砂岩で、中央に窪みが見られる。窪みは表裏ほぼ同じ位置に付けられている。全体の形は卵型を示している。横十五センチメートル、縦十一、八センチメートル、厚さ四、五センチメートルである。メガネの大きさと比較すると、その大きさが推測できると思う。

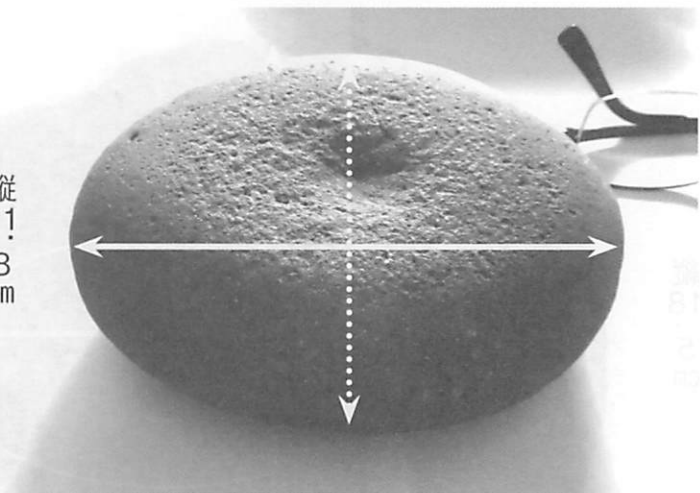
重さは一、一五キログラムと頁岩のもの比べると軽い。

佐伯市には番匠川の支流、堅田川、大越川周辺の下城遺跡、長良貝塚で縄文早期の土器が発見されている。その他のにも宇目、直川地区に古代の遺跡が発見されている。

佐伯市狩生地区では他に発見された物はない。まだまだこの地域にこのような遺物が発見される可能性がある。

横15cm

縦11.8cm



中央に大きな窪みのある石器

この二つの石器は、佐伯の古代を知る上で参考になると思う。

佐伯市にはこのように石器や土器片、鉄器などが各地で発見されている。遺物を比較したり、発見された付近を詳しく精掘する必要がある。この石器を基に当時の生活の様子を推察する事も一つの歴史探検ロマンである。